

公益社団法人 東京都臨床検査技師会令和5年度第5回理事会議事録

日時：令和5年9月20日（水）19時00分～21時50分

場所：都臨技事務所 オンラインWeb会議システム（Zoomミーティング）

議長：原田

議事録作成：神田

出席：

（東京都臨床検査技師会事務所にて参加）19名

浄土、山方、竹澤、三橋、平木、加藤、近藤、相馬、星野、浅野、岩瀬、飛知和、府川、末永、米谷、神田、高橋監事、遠藤監事、佐野監事

以下の出席者は、Web会議システム「Zoomミーティング」により参加した。

（自宅より参加）5名

原田、杉岡、米山、畑田、関口（役員候補者選出委員会委員）、

（職場から参加）4名

中村：勤務先 東京都練馬区高野台3丁目1-10 順天堂大学医学部附属練馬病院

堀口：勤務先 東京都港区西新橋3丁目19-18 東京慈恵会医科大学附属病院 輸血細胞治療部

市川：勤務先 東京都新宿区西新宿6丁目7-1 東京医科大学病院 輸血部

山崎：勤務先 東京都江戸川区船堀4-1-1 タワーホール船堀6階 一般社団法人江戸川区医師会 統括支援室

計28名

議事の経過の要領およびその結果

定刻

東京都臨床検査技師会会長 原田典明は議長席につき、Web会議システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認の後、理事会の開会を宣し、以下の議事に入った。

1. 議事録

- ・令和5年度第4回理事会議事録が承認された。
- ・2023年第5回執行理事会議事録が承認された。

2. 報告事項

1) 学術部

(1) 学術部会

- ・第4回学術部会及び第5回学術部会の報告がなされた。
- ・一般検査研究班からスキルアップ研修会について、弘前からお越しになる講師の交通費と宿泊費の申請があった。ZOOMの研修会であり、講師は会場費のかからない事務所からの講演を行うため、交通費と宿泊費がかかることについては疑問がある。今回は実技講習ではないこともあり、受益者負担にする必要性があったのか、参加費を抑えながら開催することが会員のためなのかという意見があった。今後は規程を見直し、予算申請の段階でも受益者負担の研修会は内容を確認することとした。
- ・臨床化学研究班の一都二県合同研修会の募集を他県や非会員が入らないように、東京、千葉、埼玉を別々にJAMTに登録し参加を募るようにしたい。日臨技の会員であれば無料であるため、日臨技に昨年度のJAMT登録内容を確認し同様の設定で進めていく。
- ・一般検査研究班主催のスキルアップセミナーが取り消しとなった。
- ・来年度の予算案、事業計画案を作成するにあたり研修会の開催形式（現地開催、Web開催）は研究班の判断に任せることになった。ただし、現地開催の場合は人数把握のため事前登録制とする。また会員にとってWeb開催と現地開催のどちらが有効であったかを検証（現地開催とした場合の参加人数の制限やハイブリット開催のコストなど）し、今後の方針を決めることとした。

(2) 編集委員会

- ・第2回編集委員会及び第3回編集委員会の報告がなされた。
- ・シリーズとなるタスクシフトの1回目は当初、昭和医療技術専門学校の山藤氏に依頼していたが、変更となり東京工科大学の岡崎氏に執筆していただいた。
- ・今月入稿の予定であった投稿原稿は査読が難航しており、次回にまわすこととした。
- ・印刷会社の変更について、会誌の発行に関わる部分を他社に変更する。会誌以外は各部局にて日本興業印刷株式会社を利用するか他の印刷会社を使用するか判断することとした。

(3) 精度管理調査委員会

- ・第4回精度管理調査委員会報告がなされた。
- ・2023年度精度管理調査は、締め切りを延長し最終的に223施設に申し込みいただいた。
- ・セラムチューブなどの値上がりがあり、3万5千円ほど予算を超えることが見込まれる。
- ・来年度に向け、なるべくボランティア採血をなくしていきたいが、血算の試料の見積もりが165万円であった。A1cについても日赤の譲渡血を使用できないか検討しているが、安定性の問題や測定できない機器が出てくることもあり難しい状況である。
- ・精度管理調査委員会からフォトサーベイについて学術研究班に相談があった。フォトサーベイは評価としてAかDしかなく、フォトサーベイで100%の答えを出すことが無いためISOを取得している施設などからD評価の場合問い合わせが来ることもあり、

対応を精度管理調査委員会で決めなくては、学術研究班で対応ができないとの回答であった。フォトサーベイの評価や対応については今後精度管理調査委員会で話し合っていく。

(4) 生涯教育制度実行委員会

・2023年7月、8月分の報告がなされた。学術研究班研修会は9回実施され延べ2283名、初級研修会は5部門実施され延べ563名の参加があった。自己申告研修は過去月分として3月、5月、6月が4件で153名、7月分が1件で109名、8月分が1件で9名の登録があった。

2) 学会運営部

(1) 第18回東京都医学検査学会

・42題の一般演題が集まり、演題数が決まったためタイムテーブルの作成を行った。
・特別企画、ランチョンセミナー、スイーツセミナー、研究班企画、学生企画、機器・試薬展示についてのプログラムやタイムテーブルの説明がなされた。
・プログラム集は印刷会社がラクスルに決まり、現在原稿を作成中。11月中には発送予定。
・一般演題の座長は研究班から選出するように学会長からお話があり、山方理事に依頼した。
・CGMの座長は桜井元理事に依頼している。
・表彰式の都合上、研究班企画Ⅱと学生企画の時間を後ろにずらすことが可能か検討することとした。
・学会の予算について、見積もりなどの詳細を作成し共有していく。

(2) 第19回東京都医学検査学会

・運営執行部に国立病院機構 東京病院の山口氏が加わることとなった。

3) 支部運営

(1) 各支部より

東支部：江戸川区民まつりと江東区民まつりの説明会に参加した。実務委員も集まったため委嘱状の発送を予定している。
西支部：8月8日に第1回西支部幹事会を開催した。青梅市立総合病院 佐藤幹事が辞任の意思を表明したため、鶴川サナトリウム病院の山本氏後任として推薦する。10月1日の稲城市ふれあい健康祭りと、10月15日の小平市民祭りの準備を進めている。
南支部：今年度の健康まつり参加予定なし。参加可能な新たな団体を探している。
北支部：10月15日開催の大新宿区まつりについて血糖測定及び血糖関連の健康相談を行う予定である。堀場製作所からアントセンスという機器をリースする。医療行為を行うため診療所の開設届を保健所に申請予定である。

(2) 選挙管理委員会

・第1回選挙管理委員会の報告がなされた。
・2024、2025年度代議員選挙のスケジュール
 選挙公示日 2023年10月1日
 立候補届け出期間 2023年10月1日～2023年11月30日
 投票期間 2024年2月1日～2024年2月23日
 開票 2024年3月上旬
 結果公示 2024年4月1日

(3) タスク・シフト/シェア講習会

・今後の予定として10月29日(日)、11月5日(日)、11月12日(日)、12月17日(日)、12月24日(日)に開催を予定している。

4) 地域保健共催事業部

(1) 検査と健康展

・会場費の支払いが完了した。
・11月18日(土)に東急プラザ渋谷にて開催する。
・内容は血管年齢とストレスチェックの同時測定、骨密度測定と乳がん触診モデル体験を行う。
・不織布バックと日臨技配布資料と案内ポスターを作成し配布予定である。
・実務員の参加が定員に満たないため、各支部の幹事で参加可能な方がいれば声をかけてもらいたい。
・13歳のハローワークの企画は、11月8日に都立板橋高校での交流会の依頼があり、STI予防委員会から伊藤幹事が参加する。

(2) STI 予防委員会

・第3回、第4回のSTI予防委員会の報告がなされた。
・今年度のエイズフェスは12月9日(土)豊島区の中池袋公園で開催される。協力団体や企画内容が決まり次第、参加の意向で進めていく。
・予防教室は、9月28日(木)東京電子専門学校へ講師2名、サポート2名で参加する。
・来年度の2024年1月12日(金)新渡戸文化短期大学へ講師1名、サポート1名で参加する。今後サポート1名を決定する。
・新宿区立落合中学校は今年度から新規で予防教室を開催するため、事前に打ち合わせを行う予定である。
・予防教室のアンケートの内容を精査し、感染症医の確認をして頂いた。各学校へのフィードバックとして返させて頂く。
・STIのホームページを新しくするため広報委員会へ要望を今後提出する。

(3) フォーラム委員会

・第1回フォーラム委員会を8月30日に開催した。
・今年度の公開講座の講師選定を行い、東京都健康安全研究センター 微生物部 貞升健志先生が候補として挙がった。今後、講演時間や内容を審議し、打診をする。

(4) 学生対象講演会

・都臨技学会での講演を要望されているため、学生団体と協議していく予定である。

(5) 教育施設連絡者会議

- ・タスク・シフト/シェアで現カリキュラムの学生に対しシミュレーターを貸して欲しいと要望があった。今後、会議を開催し機材の発送手続きなどについて話を進めていく。
- ・学校で厚生労働省の指定講習会を開催する場合は機器の借用は可能であるが、学校の講習や実習を行う場合は NG である。状況に応じ適正に振り分けを行い、対応する。

5) 会計部

(1) 会計部報告

- ・2023年7月、8月の収支会計報告がなされた。
- ・第二四半期の理事行動費を10月4日(水)までに提出をお願いしたい。
- ・適格請求書(インボイス)で日臨技は課税事業者となる。学術担当の会計、研究班の班長へ使用方法やサンプルを送る予定である。後期の仮払いを行う際に会計担当へは説明を行う。10月1日から適用となる。

6) 庶務部

(1) 庶務部報告

- ・会員数報告がなされた。正会員数7495名、賛助会員65社、学生会員7名、名誉会員13名。
- ・新入会会員の審議依頼がなされた。
- ・会費未納の会員への対応について、原則として翌年の4月1日で会費未納者は強制退会となる。実際には1度払込書を請求書として送付しワンクッションおく運用を今後行っていく。
- ・パートタイム事務員の契約を行った。原本は金庫に保管してある。
- ・パートタイム事務員通勤費申請書兼住所変更届およびパートタイム事務員通勤手当支給規則の審議依頼がなされた。
- ・事務員の勤退管理について、府川理事が担当する。勤務予定表、タイムカード、有休申請など今後は府川理事に報告を挙げてもらうようにシステムを構築した。次回以降、理事会では勤務表のみの公開とする。
- ・賛助会員の社名変更が1件あった。
- ・学生会員の入会について、学校教員から学校が学生の会費を負担するため、一括入金したいと相談があった。対応として申込用紙を事務所から学校に送り、返送していただいたうえで学校から人数分の入金をしていただくこととした。
- ・中間監査の候補日を、11月10日(金)とした。
- (2) 役員候補者選出委員会
- ・第3回役員選考委員会が9月7日に開催された。
- ・推薦状の確認の行い方について審議の依頼があり、事務局に依頼し幹事歴や役員歴を確認していただく事とした。
- ・2024、2025年度の東京都臨床検査技師会役員選出の公示が10月1日となる。公示文書と推薦状について確認を行った。

7) 事務局

(1) 事務局報告

- ・2023年8月の事務局報告がなされた。
- ・今年度の地域ニューリーダー育成研修会は神田理事が参加することに決まった。
- ・令和5年度都道府県技師会リーダー育成研修会は中村副会長と杉岡副会長が中心となり、研修会の検討をしていく。
- ・日臨技の70年記念誌が事務局に届いている。興味のある方はご一読いただきたい。
- ・第40回私立医科大学臨床検査技師会学術研修会の後援依頼があり、承諾した。
- ・がんゲノム研究会主催 オンラインセミナー2023の後援依頼があり、承諾した。
- ・第22回東京都輸血療法研究会の後援名義使用申請について依頼があり、承諾した。

(2) 表彰選考委員会

- ・第4回表彰選考委員会の報告がなされた。
- ・表彰選考委員会が推薦した矢田部氏の緒方富雄賞の受賞が決まった。授賞式は11月26日(日)に開催される。
- ・永年会員の調査はがきを10月末までを締め切りとして発送予定している。

(3) 広報委員会

- ・2023年7月、8月分の報告がなされた。

(4) 青年育成委員会

- ・2023年7月、8月分の報告がなされた。
- ・今年度の活動は委員会としての活動方針や研修会等の構想を検討する。
- ・長野、埼玉、福岡それぞれの県で同様の活動をしている担当者に連絡をとった。情報交換や研修会参加を今後は考えている。

8) 副会長報告

(1) 杉岡副会長

- ・11月25日、26日に開催される首都圏関甲信学会の事前参加申し込みが開始されている。理事の方々はなるべく参加していただきたい。
- ・イベントペイの設定が変更されていることがあるここ数か月で2回あったため学術部会で注意を促していただきたい。
- ・10月12日～15日まで韓国の臨床検査技師会の学会に参加する。

(2) 中村副会長

- ・日本臨床検査技師連盟(日技連)より「連盟ニュースが発行」された。内容としては、メディカルテストジャーナルに日技連の記事が掲載され日技連の会員数が減少していること、また今後、日技連から議員を出す方向で進めていることが取り上げられている。理事の方々には積極的に日技連に入会していただきたい。

(3) 米山副会長

- ・都臨技会章の投票結果から日本医科大学多摩永山病院の飯塚 瑞紀氏のデザインに決定した。
- ・都臨技会章の変更にあたり、会旗や会員証などの変更が必要となるため、今後必要なものを洗い出し、対応していく。

9) 会長報告

- ・臨床検査技師の議員がいないため立場的にも不利な状況にある。臨床検査技師の職を守るためにも日本臨床検査技師連盟に加入していただきたい。
- ・日臨技の会長選は来月から立候補の届け出が始まる。9月9日に開催した臨時の一都八県会長会議では、現日臨技副会長の長沢光章氏が立候補する表明があった。今後、理事会の場で会長候補の方が挨拶や説明に来ることがあるためご承知おき願いたい。都臨技としては日臨技会長選を会員に向けて積極的にメールやLINEを通じてアナウンスしていく。
- ・11月11日、群馬県臨床検査技師会の70周年記念式典が開催される。
- ・2024年2月3日栃木県が主催となって人材育成研修会がライトキューブ宇都宮で開催される。栃木県の青年部の活動について取り上げられるため、青年育成委員会の委員は積極的に参加していただきたい。
- ・翌日の2024年2月4日は一都八県会長会議が開催される。
- ・2024年2月24日埼玉県臨床検査技師会の70周年記念式典が大宮ソニックシティで開催される。

10) その他

- ・特になし

3. 審議事項

- 1) 遺伝子・染色体検査研究班幹事の推薦(杉村氏)について審議の結果、承認された。
- 2) 臨床化学研究班の共済願(積水メディカル株式会社)について審議の結果、承認された。
- 3) 新入会会員104名(新入会93名、再入会11名)について審議の結果、承認された。
- 4) 新規入会学生会員2名について審議の結果、承認された。
- 5) パートタイム事務員通勤手当支給規則およびパートタイム事務員通勤費申請書兼住所変更届について審議の結果、承認された。
- 6) 西支部幹事の推薦(山本氏)について審議の結果、承認された。

以上をもって本理事会の審議を終了したので、議長は閉会を宣言し21時50分に解散した。本日のWeb会議システムを併用した理事会は、終始異常なく審議を終了した。上記の議題及び決議内容を明確にするため、この議事録を作成し議長と監事は次に署名捺印する。

2023年9月20日(水)

公益社団法人 東京都臨床検査技師会
議事録作成 神田 裕介

議長
(原田)

原田典明



監事
(高橋)

高橋秀治



監事
(佐野)

佐野和三



監事
(遠藤)

遠藤盛人

